

平成26年12月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額+繰越	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	支出負担行為	対予算比
8. 水道事業収益	2,658,966	187,141	1,766,418	66.4%	892,548		
1. 営業収益	2,309,761	184,077	1,738,615	75.3%	571,146		
1. 給水収益	2,280,090	183,291	1,731,656	75.9%	548,434		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	29,671	786	6,959	23.5%	22,712		
2. 営業外収益	348,350	3,063	27,053	7.8%	321,297		
3. 特別利益	855		750	87.8%	105		
9. 水道事業費用	2,805,309	86,794	1,124,346	40.1%	1,680,963	1,309,411	46.7%
1. 営業費用	2,105,784	86,709	603,246	28.6%	1,502,538	788,027	37.4%
1. 原水及び浄水費	459,804	25,713	232,878	50.6%	226,926	300,648	65.4%
2. 配水費	279,782	22,897	143,237	51.2%	136,545	190,444	68.1%
3. 給水費	105,465	8,845	65,101	61.7%	40,364	75,154	71.3%
4. 受託工事費							
5. 業務費	119,465	11,123	79,876	66.9%	39,589	113,947	95.4%
6. 総係費	143,346	18,131	82,155	57.3%	61,191	107,834	75.2%
8. 減価償却費	955,368				955,368		
9. 資産減耗費	42,554				42,554		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	285,571		128,092	44.9%	157,479	128,092	44.9%
3. 特別損失	393,954	84	393,007	99.8%	947	393,292	99.8%
4. 予備費	20,000				20,000		
10. 資本的収入	1,674,270	53,660	183,908	11.0%	1,490,362		
1. 企業債	951,100	36,600	57,600	6.1%	893,500		
2. 負担金・補償金	216,665		60,639	28.0%	156,026		
3. 補助金	193,678	1,597	20,721	10.7%	172,957		
4. 出資金	298,496	13,260	30,940	10.4%	267,556		
5. 加入金	14,331	2,203	14,008	97.7%	323		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出	2,703,401	71,781	746,095	27.6%	1,957,306	1,443,044	53.4%
1. 建設改良費	2,092,702	71,781	442,858	21.2%	1,649,844	1,443,044	69.0%
1. 取水施設整備費	231,341		59,673	25.8%	171,668	139,969	60.5%
2. 浄水施設整備費	165,929	45,786	58,731	35.4%	107,198	156,090	94.1%
3. 配給水施設整備費	1,692,472	25,996	324,453	19.2%	1,368,019	1,145,418	67.7%
6. 管理施設整備費							
7. 消防設備整備費	2,960				2,960	1,566	52.9%
8. 災害復旧費							
2. 企業債償還金	610,699		303,238	49.7%	307,461		
12. たな卸し資産購入限度額	37,513	2,133	26,537	70.7%	10,976		
①有収水量	8,147,300	646,156	6,159,889	75.6%	1,987,411		
②供給単価	279.86	283.66	281.12	100.5%	△ 1.26		
③給水原価	258.40	134.19	118.73	45.9%	139.67		
人件費	229,544	15,234	182,245	79.4%	47,299		
1. 収益的収支	199,089	13,187	155,710	78.2%	43,379		
1. 職員給与費	194,943	12,864	153,399	78.7%	41,544		
2. 特別職(報酬、賃金等)	4,146	324	2,312	55.8%	1,834		
2. 資本的収支	30,455	2,047	26,535	87.1%	3,920		
* 職員給与費	225,398	14,911	179,933	79.8%	45,465		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.5%	7.0%	8.9%				
2. 全職員	9.9%	8.1%	10.4%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	39,649,660	40,102,121	452,461	・みなし償却修正 ・小規模水道資産評価
*減価償却累計額	16,199,600	16,712,744	513,144	
B. 流動資産	2,747,729	2,932,723	184,995	
1. 現金預金	2,277,801	2,390,276	112,475	
2. 未収金	320,868	252,745	△ 68,124	
3. その他	149,059	289,702	140,643	貯蔵品・前払い金等
4. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
C. 繰延勘定				H26年度より廃止
D. 水道事業費用	377,200	1,093,467	716,267	
1. 営業費用		572,435	572,435	
2. 営業外費用		128,092	128,092	
3. 特別損失	377,200	392,939	15,739	
1. 借方合計=A+B+C+D	45,284,940	47,177,858	1,353,722	+長期前受金収益化累計額
E. 固定負債	10,828,484	10,894,163	65,679	
1. 企業債	10,404,784	10,470,463	65,679	
2. 引当金	423,700	423,700		
F. 流動負債	1,086,210	460,277	△ 625,933	
1. 企業債	606,244	307,458	△ 298,786	
2. 未払金	313,626	7,100	△ 306,526	3. 未払消費税含む
3. 資本的収入整理勘定	124,923	70	△ 124,854	・H26.6から前受金のみ
4. その他流動負債	41,416	145,649	104,233	
①下水道預り金		8,749	8,749	
②水道料金預り金	23	71	48	
③その他	41,393	136,829	95,436	・仮受消費税他
G. 繰延収益	8,662,885	8,930,986	268,101	
1. 長期前受金	8,662,885	8,930,986	268,101	・償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	2,510,352	3,049,548	539,196	
H. 資本金	5,845,462	5,876,402	30,940	
1. 自己資本金	5,845,462	5,876,402	30,940	・固有、繰入(出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
J. 剰余金	2,661,799	2,661,799		
1. 資本剰余金	14,922	14,922		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	2,646,878	2,646,878		
K. 水道事業収益		1,640,987	1,640,987	
1. 営業収益		1,615,133	1,615,133	
2. 営業外収益		25,159	25,159	
3. 特別利益		695	695	
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	45,284,940	47,177,858	1,624,817	+減価償却累計額
a. 供給単価(円、銭)	261.07	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価(円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除		
①実数値	113.72	=原価算入額÷有収水量	当月予算	
②シミュレーション	261.13	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	70.56%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	80.49%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	637.16%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	519.31%	=現金預金÷流動負債		

*供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成26年 12月期 業務実績報告書(水道管理課)

一般事項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,350	273,545	272,470	272,196	1,075	1,349
2 調定水量	m ³	641,899	6,119,994	6,140,100	6,175,428	△ 20,106	△ 55,434
3 調定料金(税抜)	円	169,714,241	1,608,175,161	1,605,500,000	1,615,579,521	2,675,161	△ 7,404,360
4 口振加入件数	件	25,403	229,357	-	229,340	-	17

2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	83,102	-	83,719	△ 617
6 給水件数	件	30,058	-	29,922	136
7 閉栓処理件数	件	192	2,296	2,127	169
8 閉栓処理件数	件	349	2,258	2,076	182
9 給水工事設計審査	件	66	664	722	△ 58
10 給水工事竣工検査	件	76	801	766	35
11 経年メーター交換	件	163	3,449	3,014	435
12 メーター口径変更	件	2	47	81	△ 34
13 月末停止件数	件	2	118	109	9

3 料金徴収関係

項目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	197,038,094 円	88.63 %	197,103,752 円	88.39 %
15 過年度分	4,421,410 円	97.70 %	4,634,980 円	97.58 %
16 全体(計)	201,459,504 円	-	201,738,732 円	-

4 給水装置工事指定業者(指定1・石越)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	8	16	12	13	9	8	14	6	104	113	217

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計 (落札件数/入札件数)	工事請負	設計業務	業務委託	物品購入	その他
入札件数	148/154	5/7	73/77	1/1	28/28	0/0
契約締結						
一般	24	2	24	2	0	0
指名	81	2	36	2	25	0
随契	41	3	13	1	3	0
合計	146	7	73	5	28	0

※入札中止 当月 0件:累計 3件/入札不調 当月 0件:累計 6件/入札取消 当月 0件:累計 0件/未契約 2件

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	37	12	・布設、移設工事 8件 ・舗装工事 2件 ・天日乾燥床版設置 1件 ・水圧調整弁整備 1件
中間検査	0	0	
合計	37	12	

7 主な行事・会議

会議名	日時	内容
水道技術管理者部会	2日	水道事業
第9回安全衛生委員会	8日	行事計画及び日程調整
第9回水道事業連絡会議、料金徴収等管理業務委託会議	9日	業務報告、日程確認、業務打合せ、その他
資金管理運用委員会	16日	資金運用について
第9回経営分析会議	24日	経営概況、残高試算表、月報、監査復命
部長等連絡調整会議	25日	庁内連絡調整、事業調整、各種行事等、
第9回事業調整会議	25日	部長等連絡調整会議復命、日程調整
例月出納検査	25日	月例監査
仕事納め式	26日	仕事納め
指名委員会	-日	第23回 12/10、
入札	-日	12/10、12/24
緊急メールの発出	-日	漏水 26、水質 1、破損 2、訓練 1 計 30

特記事項

1. 12月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

①収益的収支

当期の給水収益(税込み)は183,329千円で、11月期に比べて69千円の増で、予算執行率は75.9%、対前年同月比(税抜き)では7,404千円の減、営業外収益は3,063千円で、事務手数料、補償金となっています。

当期の営業費用は86,709千円の執行で、11月期に比べて22,110の増、累計額は603,246千円、予算執行率は28.6%となっています。特別損失は、放射能検査料84千円を執行しました。

②資本的収支

当期の収入は、水道加入金が2,203千円、累計で14,008千円、予算執行率は97.7%となっています。繰越では、取水施設補助金1,597千円、出資金13,260千円、企業債36,600千円を充当しました。

支出は、71,781千円で、保呂羽浄水場天日乾燥床工事費45,786千円、配水管布設工事費に1,551千円、配水管布設替工事費に13,447千円、配水管移設工事費に5,101千円を執行しました。

③たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品で2,103千円、消耗品29千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 平成26年第4回議会定例会が開会

平成26年第4回議会定例会が12月4日から16日開催されました。水道事業所関係では、人事院勧告に基づく給与改訂の補正予算を提案、原案通り可決されました。また、産業建設常任委員会が12月11日に開催され、提案議案と主要事業の進捗状況について説明をしております。

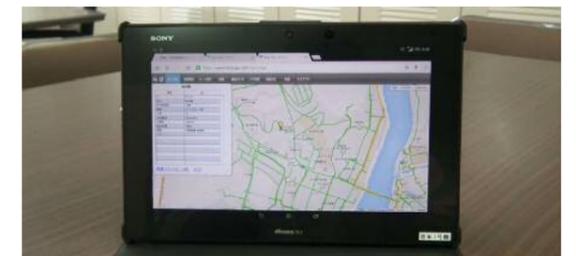
(2) モバイルマッピングシステムを運用

平成25年度から資産管理業務として水道施設の図面や台帳、水系や水圧、水量管理等の電子化を進めていたモバイルマッピングシステムについて、平成26年4月から管網データの検索や断水区域の表示等一部運用を始めていましたが、屋外でもシステムを利用できるようシステムを改良し、タブレットやスマートフォン等の携帯端末を使って、利用できるようにしました。これまで漏水事故等では、図面を見ながら現場との調整を行っていましたが、災害時や漏水事故時には図面データが瞬時に見ることができ、さらに現場状況のデータ送信も可能となり、事業所と事故現場が一体となり、スピーディーな対応が可能となります。また、平時も図面データの閲覧や現場管理に活用され、作業効率アップと省力化につながります。現在、5台の端末で運用していますが、一部水道業務受託業者にも提供、機能を十分に理解するため、受託事業者等を含め、随時操作研修会を開催し、運用していきます。



(3) 水道ブラスター会議を開催

水道ブラスター会議を12月17日に開催しました。今月は配水管工事の現状、特にダクタイル鋳鉄管更新事業の進捗状況や管種や継ぎ手、工事方法について説明をしました。



(4) 給水拠点訓練を実施

給水拠点訓練を12月19日に中田総合支所で実施しました。支所職員、事業所職員、水道業務受託業者等15名が参加、給水タンクの組み立てから給水までの一連の作業について、手順を確認しながら訓練を実施しました。



平成26年 12月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	848,448	7,788,284	7,739,120	7,882,982	49,164	-94,698
総配水量	802,802	7,393,572	7,400,020	7,574,076	-6,448	-180,504
1 有効水量	716,042	6,703,955	6,658,630	6,791,840	45,325	-87,885
(1)有収水量	646,156	6,159,889	6,177,900	6,216,481	-18,011	-56,592
(2)無収水量	69,886	544,066	480,730	575,359	63,336	-31,293
2 無効水量	86,760	689,617	741,390	782,236	-51,773	-92,619
(1)漏水量	86,391	683,779	738,000	778,561	-54,221	-94,782
(2)その他無効水量	369	5,838	3,390	3,675	2,448	2,163
3 有収率	80.49	83.31	83.48	82.08	-0.17	1.23

※当月期の最大配水量は、31日(水)に記録した【28,408m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	178,956	4	80,296	2	7,290	91,370	49%
イ 浄水施設整備事業	8	132,989	4	64,444	6	58,731	9,814	93%
ウ 配給水施設整備事業	80	1,503,028	54	820,966	39	137,959	544,103	64%
エ 繰越事業	12	274,769	1	32,915	11	238,878	2,976	98%

*注1 件数及び金額は工事+委託の合計です。

◎毎日検査 ※おいしい水の条件 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数: 7)	東和町水系 (測定戸数: 4)	石越町水系 (測定戸数: 2)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数: 1)
平均	0.59	0.41	0.40	0.56	0.37
最低	0.50	0.19	0.19	0.43	0.30
最高	0.67	0.56	0.59	0.67	0.40

◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H26.12.22	<0.60	<0.80	米谷水系浄水場	H26.12.19	<0.60	<0.70
石越浄水場	H26.12.22	<0.60	<0.60	楼台浄水場	H26.12.19	<0.70	<0.70
大萱沢浄水場	H26.12.19	<0.80	<0.70	合の木浄水場	H26.12.22	<0.70	<0.60
米川水系浄水場	H26.12.19	<0.70	<0.60	大綱木浄水場	H26.12.22	<0.80	<0.70
錦織水系浄水場	H26.12.19	<0.60	<0.70	—	—	—	—

特 記 事 項

1 セラミック製の膜ろ過設備の実証試験を錦織浄水場で

セラミック製膜ろ過設置状況



保呂羽浄水場等管理運転業務受託者からの提案で錦織浄水場でのセラミック製膜ろ過設備の実証試験が行われています。一般的に設置されている膜処理装置は、科学繊維を用いたものが多く、その強度や短命による交換経費等のランニングコストに課題があるために、近年開発されたセラミック平膜ユニット型膜処理装置は高耐性、高強度、膜破断の無い長寿命型の装置としてランニングコスト等の軽減を目指し開発された装置です。将来の錦織浄水場更新時に新たな水処理方法として期待できることから、実証試験の場所を提供したもので、16日から23日かけてメーカーが設置し、来年の8月まで実証試験が行われます。

2 保呂羽浄水場次亜塩素酸ナトリウム貯蔵槽の更新完了

次亜タンク設置状況



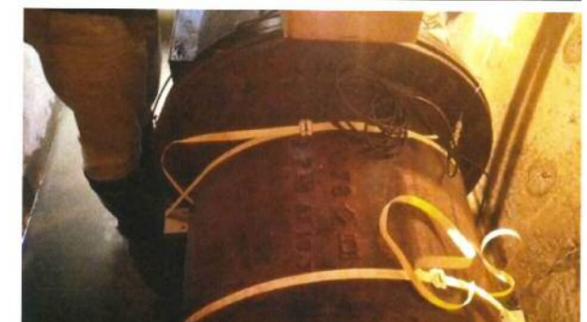
次亜塩素酸ナトリウム貯蔵槽1号の更新が完了しました。本製品は平成10年に設置しておりますが経年劣化に伴い今回の更新となりました。

*概要

契約締結日 : 8月29日
 契約金額 : 金1,998千円
 契約相手方 : (株)ササエイ薬局
 材 質 : ポリエチレン製 (PE)
 タンク容量 : 10m³
 寸 法 : H3.62m×D2.28

3 保呂羽浄水場F1流量計に超音波流量計を設置

超音波流量計設置状況



平成26年度の漏水調査業務において、保呂羽浄水場からの出口に設置されているF1配水流量計に経年劣化に伴う計測誤差が生じていないかを確認するため、受託者で超音波流量計を26日現地に取付ました。

1月5日までの計測予定でデータ集計後、F1流量計との比較分析を実施します。

4 平成26年度漏水調査の実施 (注:6月から実施)

12月末現在の漏水調査の結果は累計で、(配水管44箇所、空気弁3箇所、消火栓1箇所、給水管59箇所、止水栓7箇所、メータ22箇所、宅内3箇所)139件の漏水を発見しています。

5 地震発生状況

登米市内における震度4以上の地震発生はありませんでした。